

# 眼鏡処方

(30~40分)

近視や遠視の程度の測定と共に乱視<sup>らんし</sup>（物が歪んで見える、二重に見える等）がどの位あるか詳しい検査が必要になります。眼鏡の度数が決定すると装用練習を15分行い、その度数で疲れがないか、見え方が良いかを確認し、問題がなければ処方箋を交付致します。

眼鏡には遠用、近用、遠近両用があります。

遠用眼鏡 = 遠くがよく見える眼鏡で、運転に適しています。  
老眼が始まっている方では、この眼鏡を掛けたままだと近くが見にくくなります。

近用眼鏡 = 近くが良く見える眼鏡で、新聞を読むのに適しています。  
この眼鏡では、遠くは見えません。

遠近両用眼鏡 = 1つの眼鏡の中に、遠くが良く見える部分と近くが良く見える部分が入ってます。慣れが必要で、長時間新聞を見たりするには近用専用の方が適しています。

\* 但し、眼鏡の掛け方（フィッティング）が悪いと度数が合っても見え方が悪くなる場合もあります。

\* その他、デスクワークを主としている方には、中近両用眼鏡が適している場合もあります。眼鏡は使用目的（距離）によって、度数が違いますので、担当検査員とよく相談して下さい。

## 近方視力検査

40歳以上（老視）で近くが見づらくなった方を対象に検査します。遠見視力検査で測定された、レンズ度に年齢に応じた度数のレンズをたして、近方視力表（ひらがな、カタカナなど）を読んでもいただきます。距離は30cm（日常、本を読んだり、字を書いたりする距離）を保って検査します。検査時間は10分位です。